

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2022年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	総合演習 I		
担当者(Instructors)	寺島 雅隆	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>経営学の対象は組織であり、その中心は企業です。そして企業を起こすのが創業（起業）であり、この演習では創業者に焦点を当て、その生き方を知ると共に、経営的選択（決断）を分析・評価します。創業者がなぜその選択（決断）に至ったのか、その理由や社会的背景を分析し、自分が経営者であればと主体的に発想し、その仮説についてディスカッションすることがこの演習の目的です。創業者の経営的選択（決断）に対し、なぜ成功したのか、もしくはなぜ失敗したのかを完全に証明することは困難だとしても、多くの人が理解できるように説明することは可能です。その説得的説明には、社会科学的な様々な知識や理論を用いる必要があります。それを通じて、皆さんの社会的力や学力が増していくものと考えます。そのためにはインターネット検索だけでは不十分で、多角的に分析し、自分の頭で考え抜くことが必要です。そのようにして自らの見解を筋道を立てて述べるができるようにしていきましょう。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	レジュメを用意してプレゼンテーションをし、それを元に全員でディスカッションをおこないます。創業者に関するフィールドワークも考えます。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	授業ガイダンス	授業の計画・進め方などについて解説します。	<input type="checkbox"/>
第2回	創業者研究の先行研究を概観1	創業者に関する今までの研究を紹介します。	<input type="checkbox"/>
第3回	創業者研究の先行研究を概観2	創業者に関するドラッカーの研究を紹介します。	<input type="checkbox"/>
第4回	製造業におけるプレゼンテーション1、およびディスカッション1	製造業における創業者のプレゼンテーションをおこないます。	<input type="checkbox"/>
第5回	製造業におけるプレゼンテーション2、およびディスカッション2	同上	<input type="checkbox"/>
第6回	製造業におけるプレゼンテーション3、およびディスカッション3	同上	<input type="checkbox"/>
第7回	製造業におけるプレゼンテーション4、およびディスカッション4	同上	<input type="checkbox"/>
第8回	製造業におけるプレゼンテーション5、およびディスカッション5	同上	<input type="checkbox"/>
第9回	創業者に関するフィールドワークを考える	実際的なフィールドワークの機会を考えます。	<input type="checkbox"/>
第10回	飲食業におけるプレゼンテーション1、およびディスカッション1	飲食業における創業者のプレゼンテーションをおこないます。	<input type="checkbox"/>
第11回	飲食業におけるプレゼンテーション2、およびディスカッション2	同上	<input type="checkbox"/>
第12回	飲食業におけるプレゼンテーション3、およびディスカッション3	同上	<input type="checkbox"/>
第13回	飲食業におけるプレゼンテーション4、およびディスカッション4	同上	<input type="checkbox"/>
第14回	飲食業におけるプレゼンテーション5、およびディスカッション5	同上	<input type="checkbox"/>
第15回	創業者の成功する選択の特徴と、失敗する選択の特徴を整理する	まとめを兼ねて、創業者の選択を総合的に分析します。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前には、授業のテーマについて調べ（2時間程度）、知識を得ると共に自らの見解を論じられるようにしてください。事後には、授業内容を整理し、疑問を解消し、多様な意見の中から最初の自らの見解がどのように変容したかを分析して下さい（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業におけるレポート課題及び発言について成績をつけます。次回授業までにLMSに反映させます。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	企業の背景に、創業者のどのような生き方と考えがあることを理解できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	経営的判断の是非を時代背景を配慮して述べることができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	主体的な経営判断をシュミレーションすることができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
				100%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回のレポート・発言が40%、プレゼンテーションが40%、課題レポートが20%。具体的にレポートは、10回（プレゼンテーションの回）提出があります。レポートは各4点が満点で、合計40点です。プレゼンテーションは2回の機会があり、各20点で計40点です。加えて、課題レポートの提出があり、20点が満点です。出席に関しては、毎回授業後に感想レポート（200字程度）を提出することで出席とみなします。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	寺島雅隆『障害者の経営学－雇用から起業へ』三恵社	978-4866933429
2	寺島雅隆『起業家育成論』唯学書房	978-4902225808
3		
4		
5		